資料－１

第９回　鳥海ダム建設事業マネジメント委員会

令和７年度事業実施状況及び令和８年度事業計画等について

（※「不開示情報」を省いた構成にしております）

東北地方整備局　鳥海ダム工事事務所

令和８年６月２５日（木）

令和7年度事業実施状況について

鳥海ダム建設事業の進捗状況

国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

総事業費：約1,990億円　　進捗率：R7年度末現在　37.0%（736.4億円）

（令和8年3月末時点）

補償基準	R1.9 損失補償基準妥結　　（地権者との用地補償等に係る基準は全て妥結）
貯水池・付替道路 用地取得 （約342.6ha）	97.8%（335.1ha）
家屋移転 （37戸）	100%（37戸移転） ※移転については令和4年に完了
付替林道、付替市道 （約17.2km）	15.6%（2.68km） ※工事用道路は含まない
ダム本体及び 関連工事	転流工96%　地山・基礎掘削13.7%　堤体打設0%　試験湛水0% ・仮排水トンネル　完成 ・上下流仮締切　施工中 ・本体工事（ヤード造成等）施工中

※　用地取得　付替工事　本体関連

令和7年度事業内容

国土交通省東北地方整備局
鳥海ダム工事事務所

令和7年度予算：124.6億円（前年度比1.29倍）　※令和6年度予算：96.4億円

鳥海ダム計画位置図



※上記のほか、水理水文調査、環境調査の各種調査検討等を継続。

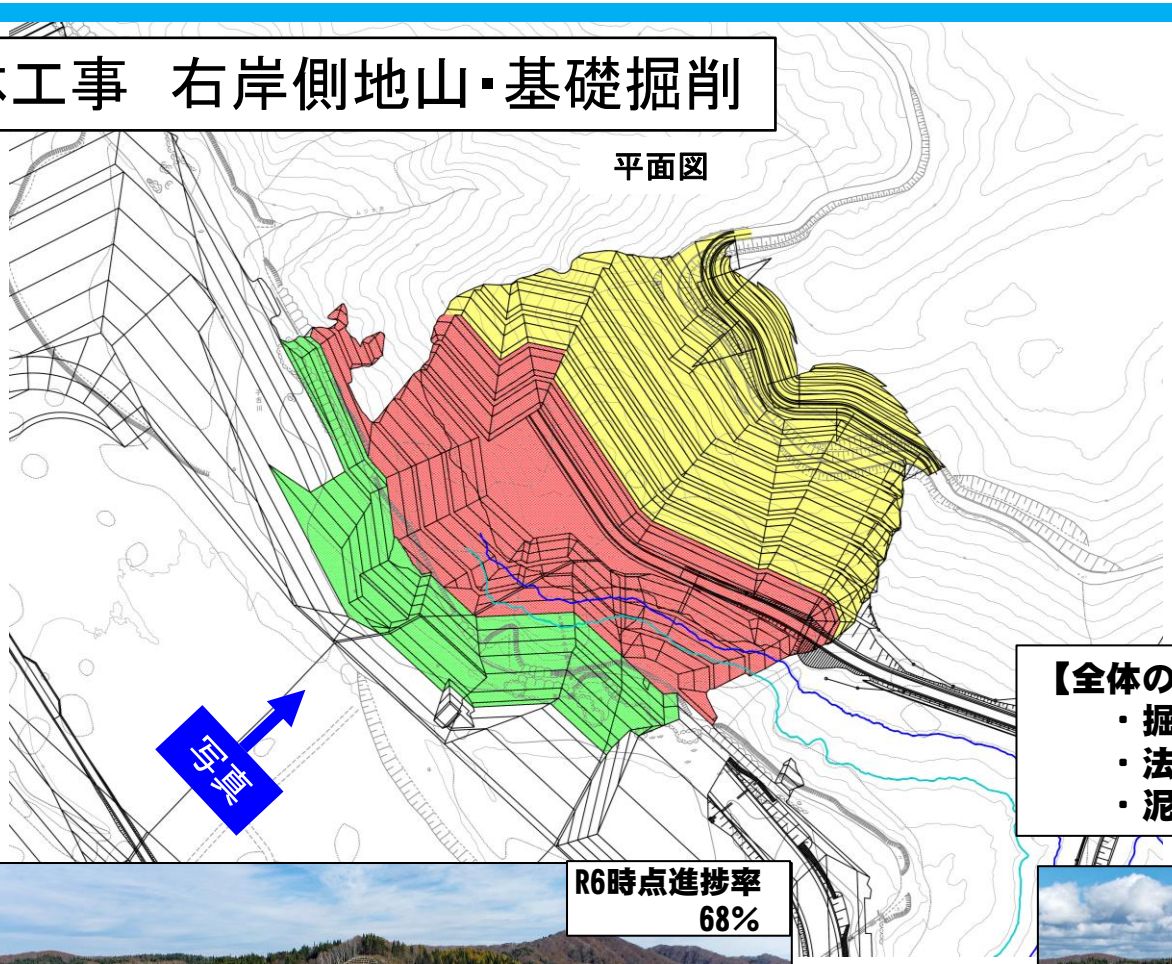
凡　例	
橋　梁	
トンネル	
現　道	
河　川	
ダム貯水池	

凡　例	
	R６年度まで
	R７年度
	R８年度以降

R7年度 事業実施状況

①本体工事　右岸側地山･基礎掘削

平面図

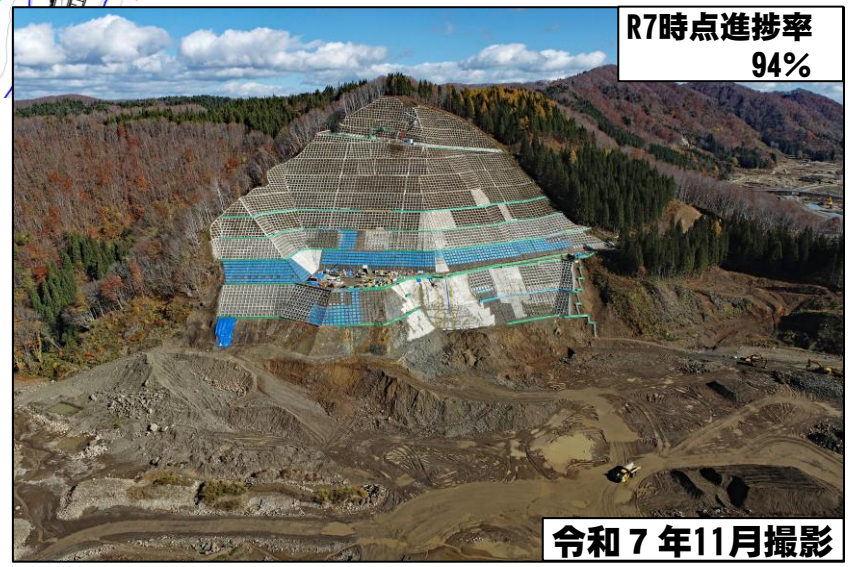


凡　例	
	R6年度まで
	R7年度
	R8年度以降

【全体の概要】

- 掘削工　V=　４６４，１００m³
- 法面工　N=　１式
- 泥濘化処理　N=　１式





※進捗率は、全体掘削量に対するR7までの掘削量より算出

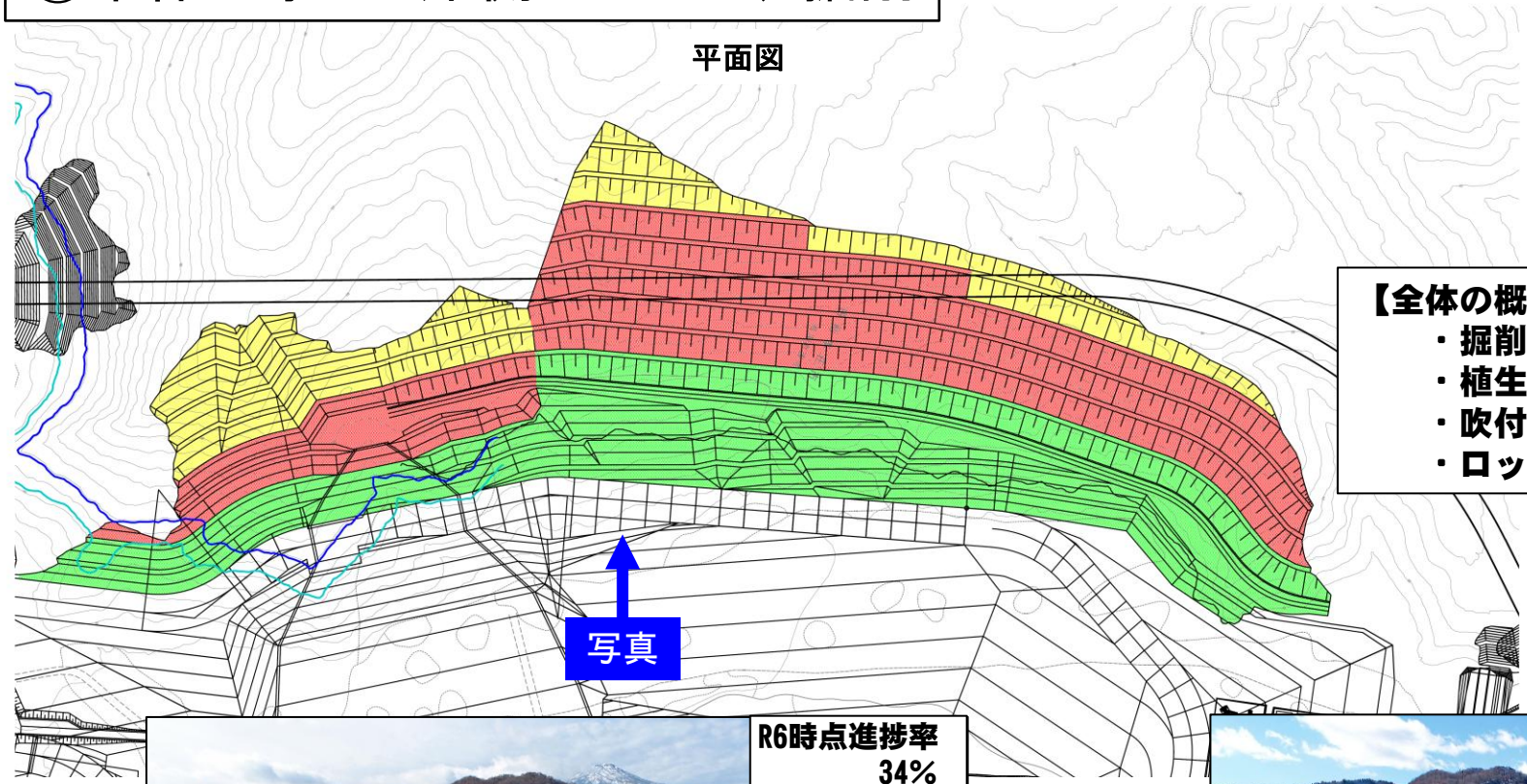
R7年度 事業実施状況

国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

②本体工事　左岸側地山・基礎掘削

平面図

凡　例	
	R6年度まで
	R7年度
	R8年度以降



【全体の概要】

- **掘削工　V=　５５５，２００m³**
- **植生基材吹付　N=　１式**
- **吹付枠　N=　１式**
- **ロックボルト　N=　６３３本**



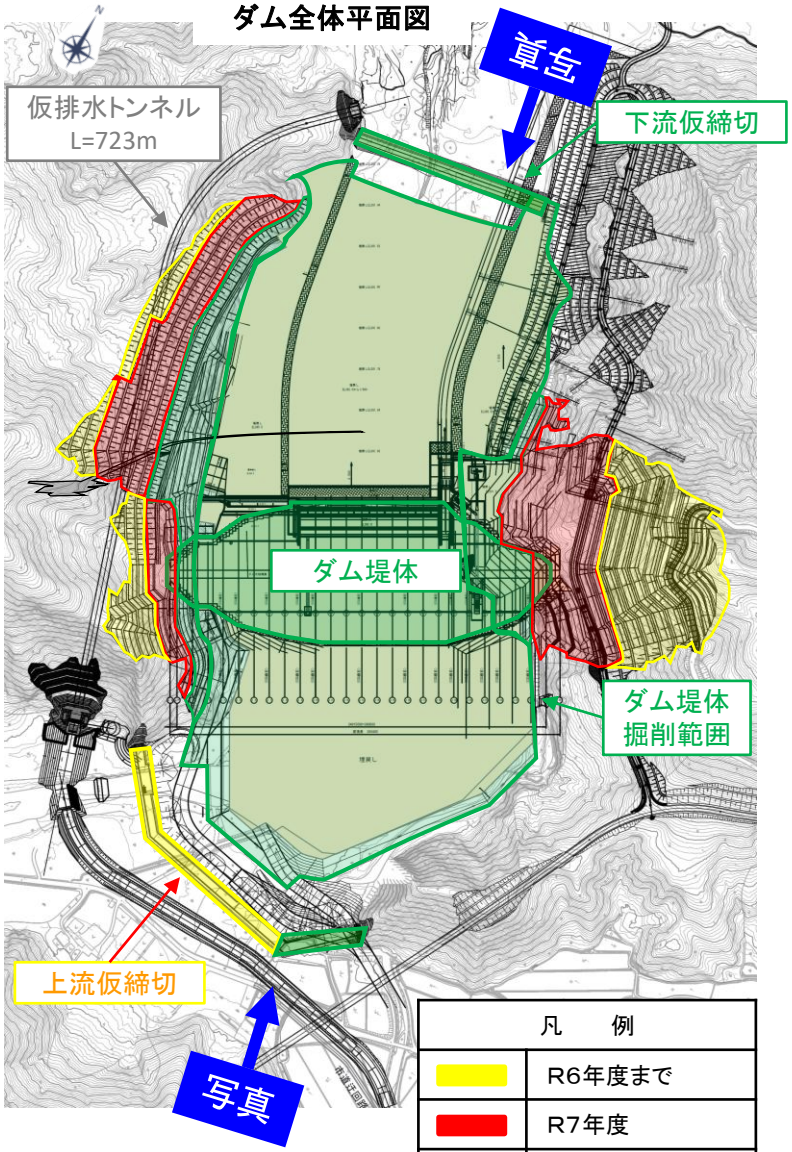


※進捗率は、全体掘削量に対するR7までの掘削量より算出

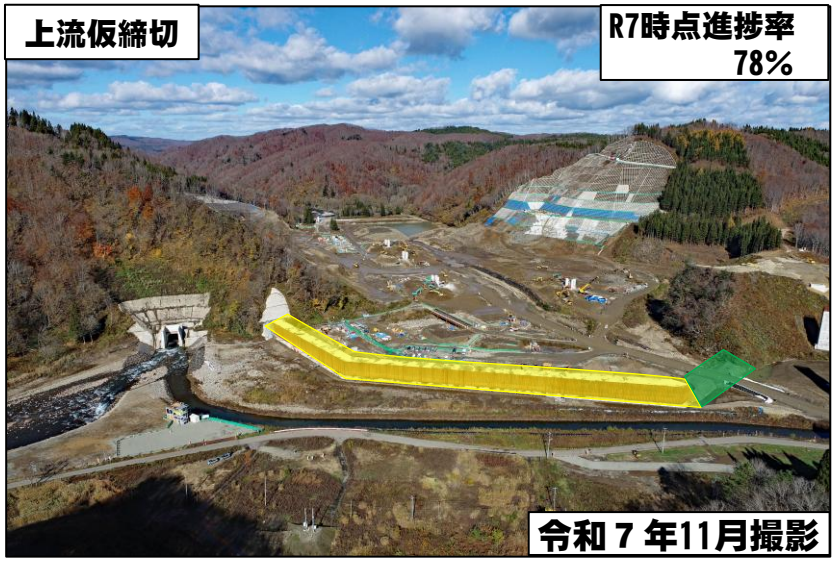
R7年度 事業実施状況

③本体工事　上下流締切

ダム全体平面図



○仮締切（締切堤）





【全体の概要】

○上流仮締切（L=346m）
- 締切本体工（INSEM）　N=　１式
- 路体（築堤）盛土　V=　３８，３００㎥
- 法面整形（盛土部）　A=　５，８００㎡

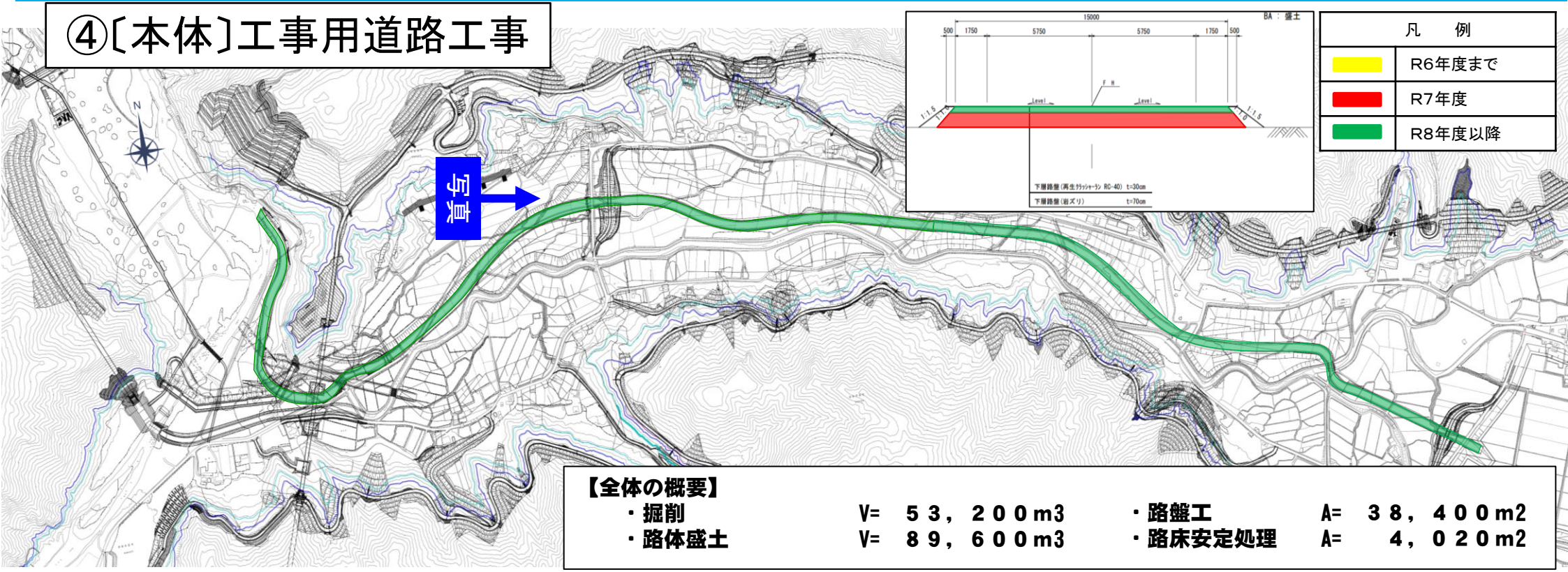
○下流仮締切（L=226.1m）
- 締切本体工（土堤）　N=　１式
- 掘削工　V=　１４０㎥
- 路体（築堤）盛土　V=　５，３７０㎥
- 法面整形工（切土部）　N=　１式

※R7の進捗率は、仮締切の工事費より算出

R7年度 事業実施状況

国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

④〔本体〕工事用道路工事



【全体の概要】

・掘削	V= ５３，２００m3	・路盤工	A= ３８，４００m2
・路体盛土	V= ８９，６００m3	・路床安定処理	A= ４，０２０m2





※R7の進捗率は、工事用道路の工事費より算出

R7年度 事業実施状況

⑤〔付替道路〕工事用道路工事

路線名	区間	延長（m）
工事用道路	1工区	377
	2-1工区	441
	2号橋	140
	4工区	441
	5工区	460
	6-1工区	485
	大膳ヶ沢線	602
	8工区	629
	9工区	662
	10工区	421
	倉ノ下	1,114
	手代	351
	高野台	641
	下向	1,482
合計		**8,246**

⑥付替道路工事

路線名	延長（m）
百宅線	5,452
法体線①	145
法体線②	203
川熊上百宅線	802
倉ノ下線	2,760
手代線	720
高野台線	2,004
田中沢線	83
棒村線	143
下向線	4,123
高野台三山線	572
大膳ヶ沢線	172
合計	**17,179**

※⑤⑥の実施状況の詳細は次ページ

R7年度 事業実施状況

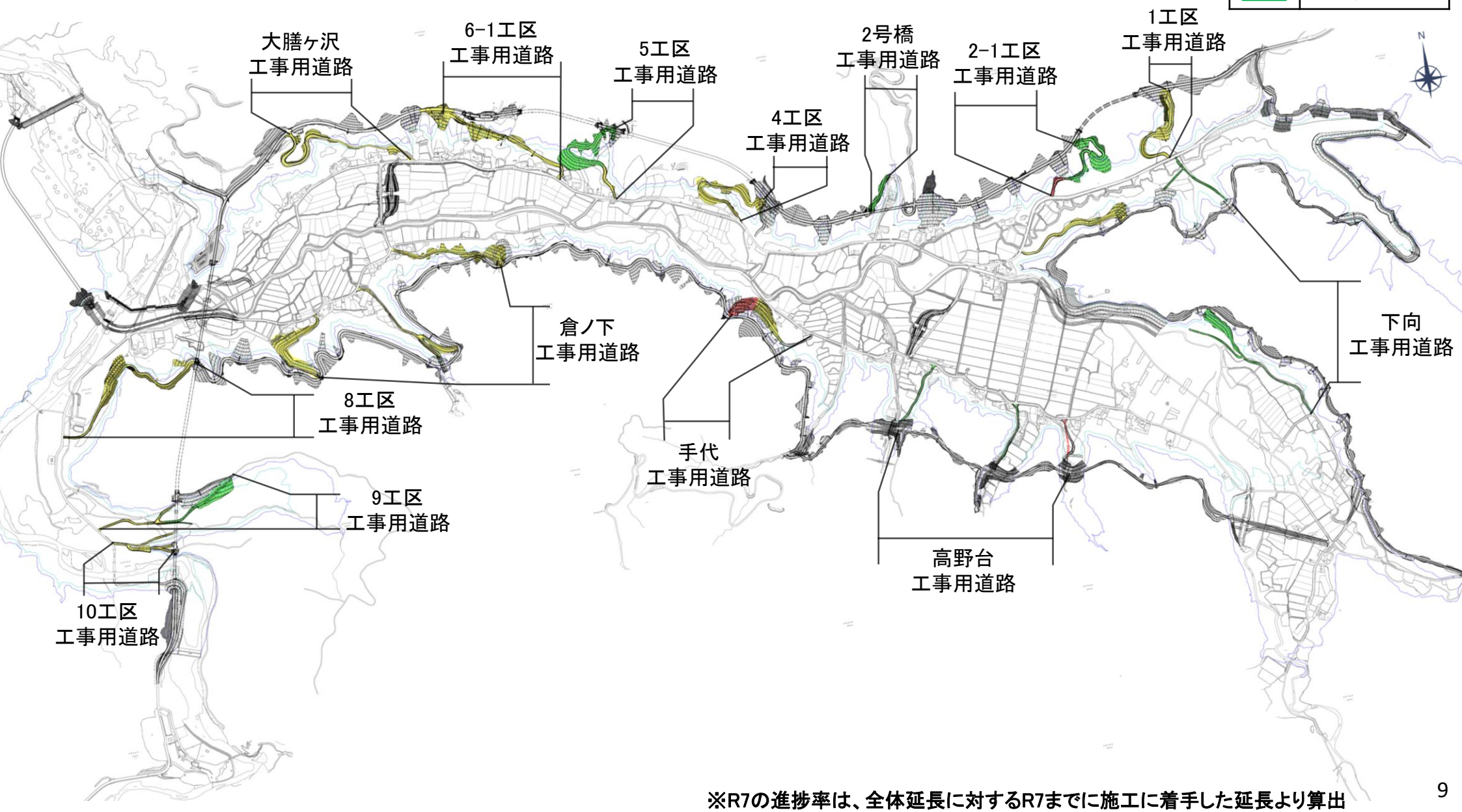
国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

⑤〔付替道路〕 工事用道路工事

総延長L=8,246m

R6時点進捗率	R7時点進捗率
65% (5,383m)	77% (6,357m)

凡　例	
	R6年度まで
	R7年度
	R8年度以降



※R7の進捗率は、全体延長に対するR7までに施工に着手した延長より算出

R7年度 事業実施状況

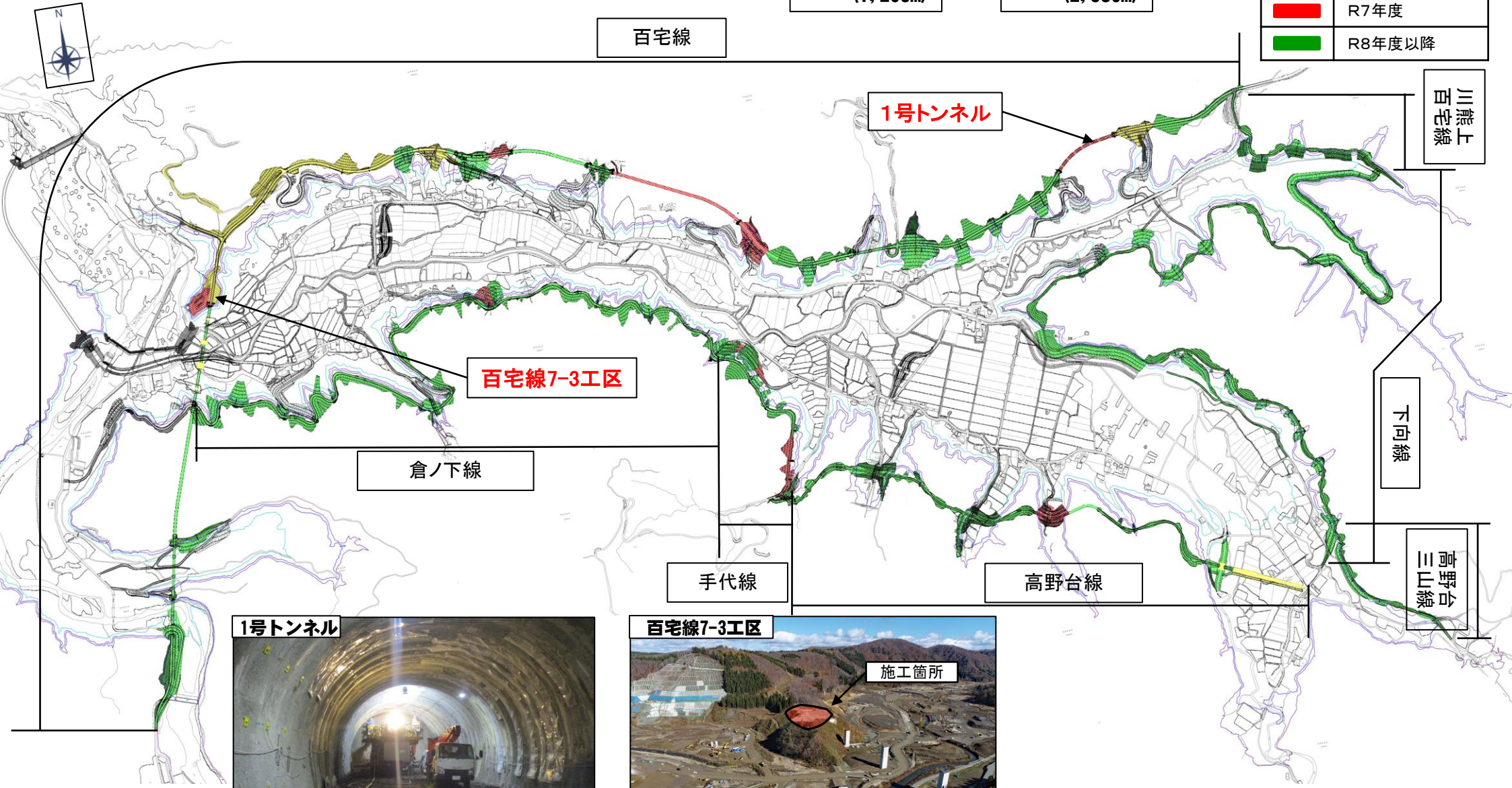
国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

⑥付替道路工事

総延長L=17,179m

R6時点進捗率	R7時点進捗率
7% (1,206m)	16% (2,680m)

凡　例	
	R6年度まで
	R7年度
	R8年度以降



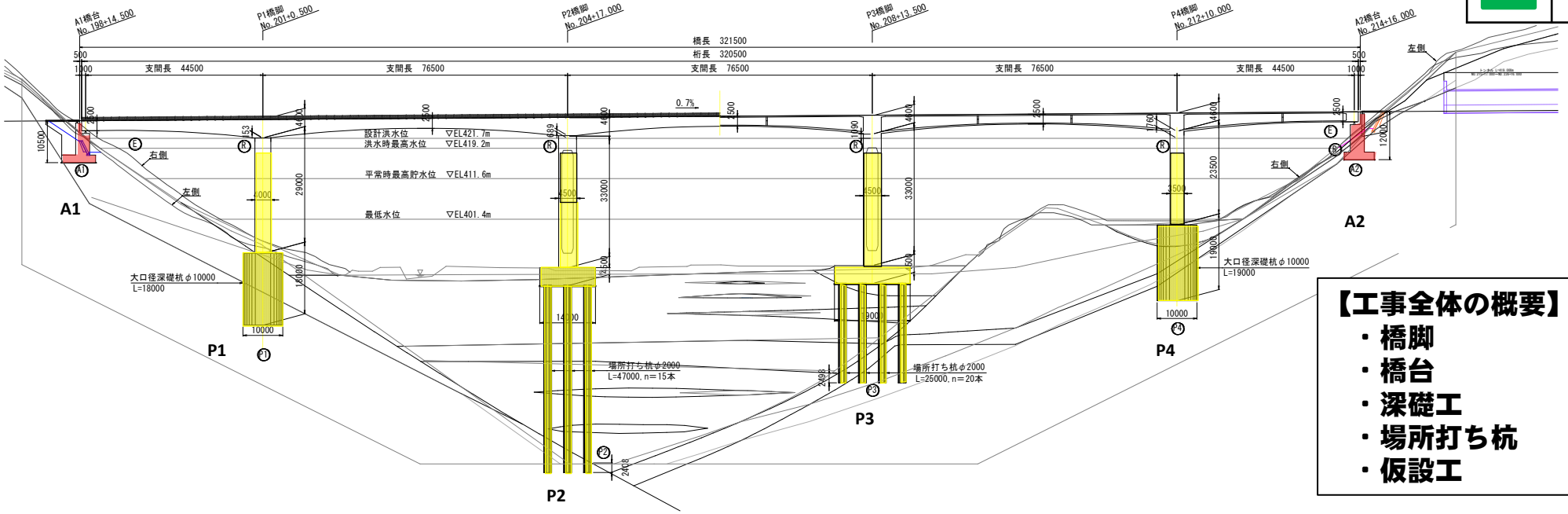
※R7の進捗率は、全体延長に対するR7までに施工に着手した延長より算出

R7年度 事業実施状況

⑦4号橋下部工工事

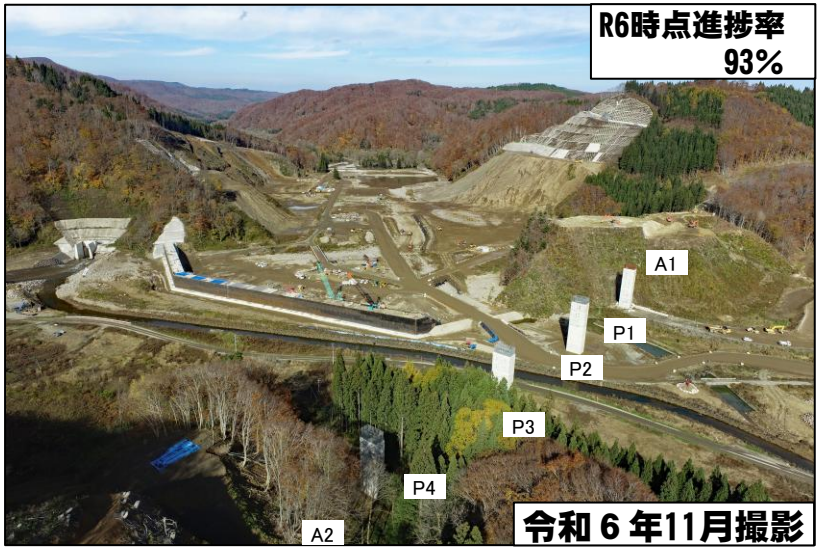
凡　例	
	R6年度まで
	R7年度
	R8年度以降

縦断図



【工事全体の概要】

・橋脚	N=	4基
・橋台	N=	2基
・深礎工	N=	2基
・場所打ち杭	N=	35基
・仮設工	N=	1式





※R7の進捗率は、４号橋下部工工事の工事費より算出

R7年度 事業実施状況

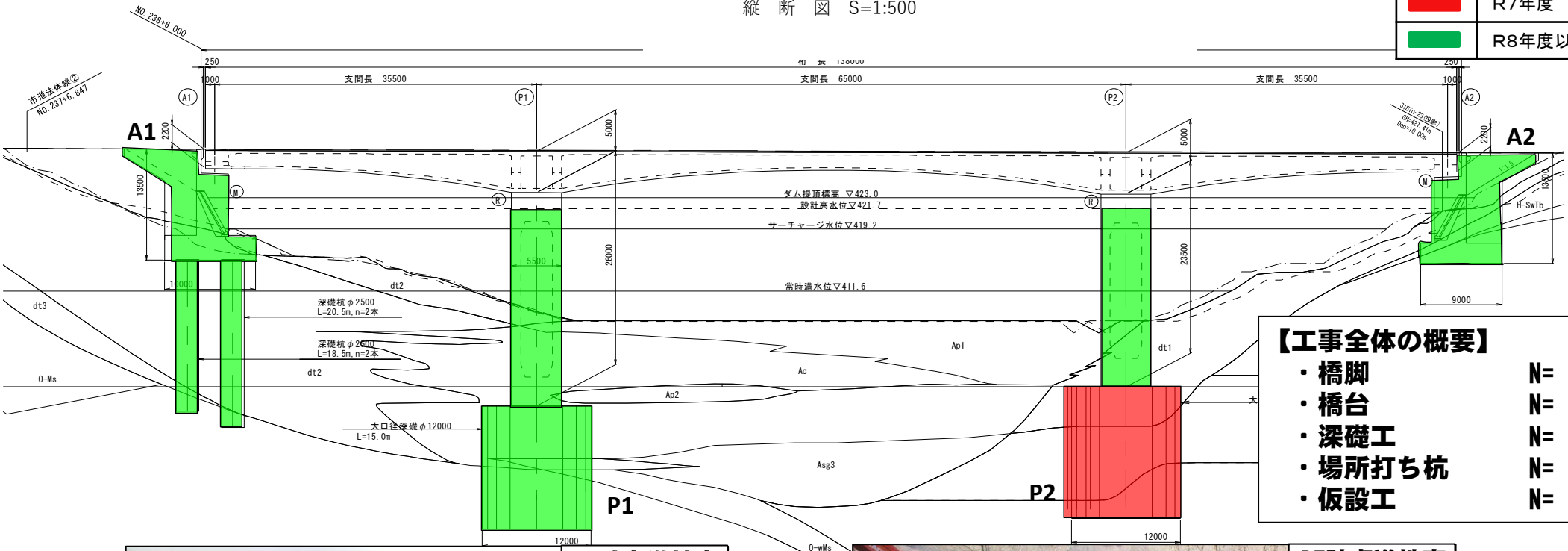
国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

⑧5号橋下部工工事

縦断図

縦　断　図　S=1:500

凡　例	
	R6年度まで
	R7年度
	R8年度以降



【工事全体の概要】

・橋脚	N=	2基
・橋台	N=	2基
・深礎工	N=	2基
・場所打ち杭	N=	4基
・仮設工	N=	1式



R6時点進捗率 20%

令和６年11月撮影



R7時点進捗率 60%

令和７年11月撮影

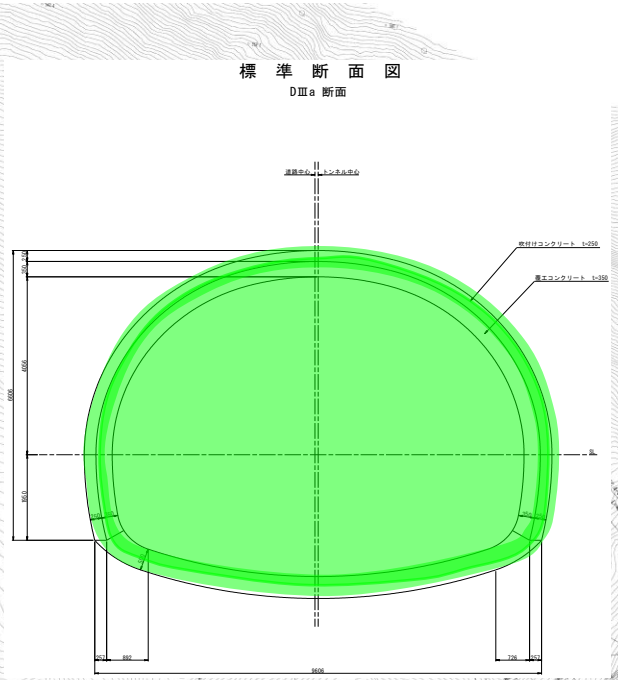
※R7の進捗率は、５号橋下部工工事の工事費より算出

R7年度 事業実施状況

国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

⑨1号トンネル工事

凡　例	
	R6年度まで
	R7年度
	R8年度以降



1号トンネルL=229m

【工事全体の概要】

・仮設備設置工	N=	1 式
・掘削工	N=	1 式
・覆工工	N=	1 式

仮設備設置箇所





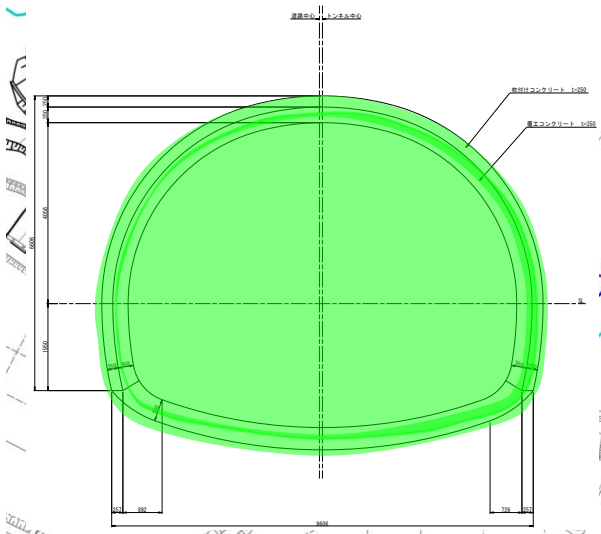
※R7の進捗率は、１号トンネル工事の工事費より算出

R7年度 事業実施状況

国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

⑩2号トンネル工事

凡　例	
	R6年度まで
	R7年度
	R8年度以降



2号トンネルL=467m

仮設備設置予定箇所

【工事全体の概要】

・仮設備設置工	N=	1 式
・掘削工	N=	1 式
・覆工工	N=	1 式





※R7の進捗率は、２号トンネル工事の工事費より算出

令和8年度事業計画について

鳥海ダム事業実施の流れ

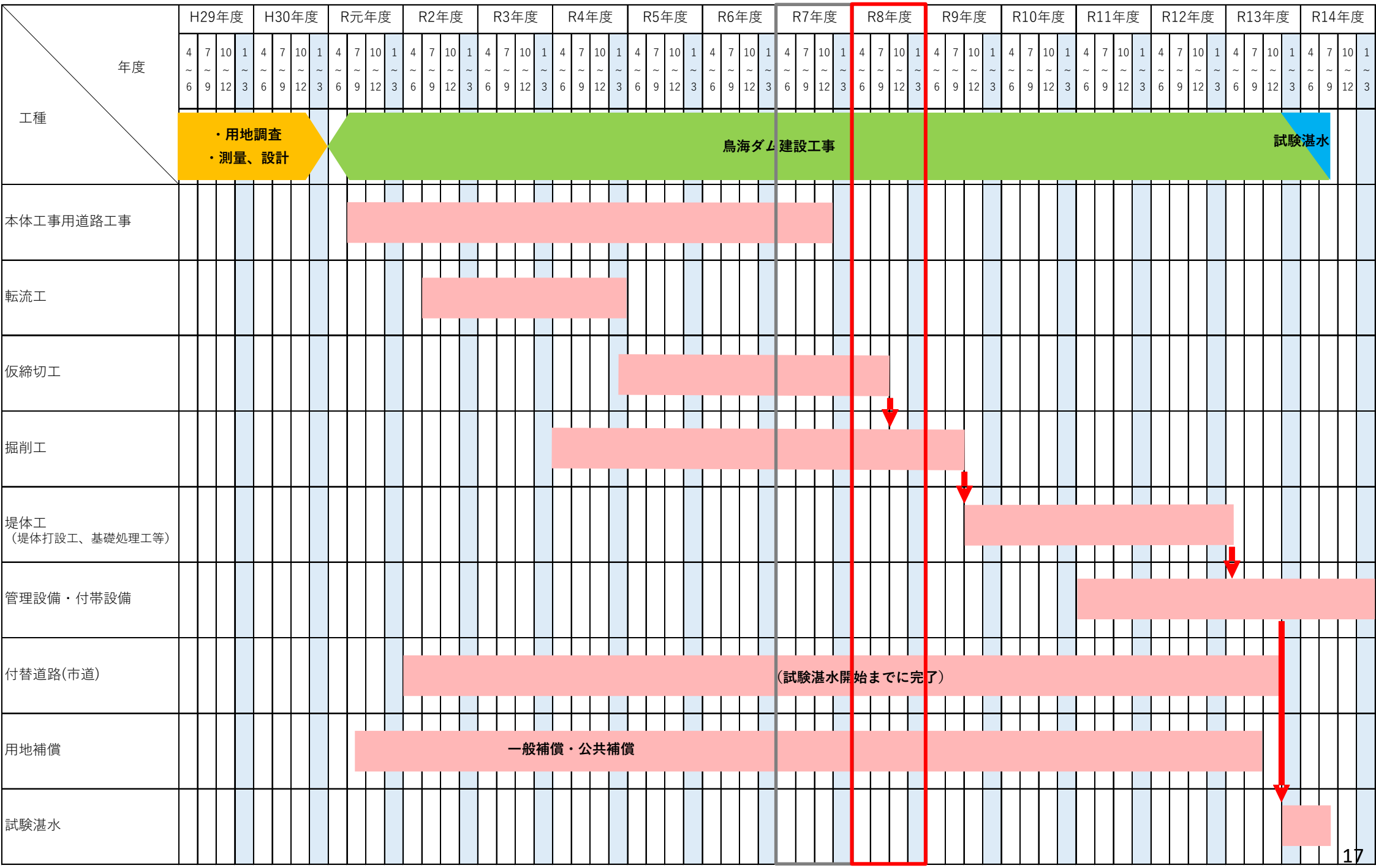
実施計画調査

建設段階

- ○実施計画調査着手（平成5年4月）
- ●建設事業着手（平成27年4月）
- ○用地調査着手（平成27年6月）
- ○環境影響評価評価書公告・縦覧（平成30年7月）
- ○基本計画告示（平成30年12月）
- ○用地補償基準妥結（調印式）（令和元年9月）
- ○用地補償契約着手
- （工事用道路、付替道路、転流工、ダム周辺上部掘削）
- ○工事着手及び推進
- ○基本計画変更告示（令和5年8月）
- **○工事着手（本体工事）**
- ○ダム本体工事、道路完成
- ○付替道路供用開始
- ○試験湛水（開始・終了）
- ●事業完了（竣工）

↑令和8年度時点

全体事業工程


年度
工種
H29年度
H30年度
R元年度
R2年度
R3年度
R4年度
R5年度
R6年度
R7年度
R8年度
R9年度
R10年度
R11年度
R12年度
R13年度
R14年度
4～6
7～9
10～12
1～3
・用地調査
・測量、設計
鳥海ダム建設工事
試験湛水
本体工事用道路工事
転流工
仮締切工
掘削工
堤体工
（堤体打設工、基礎処理工等）
管理設備・付帯設備
付替道路(市道)
(試験湛水開始までに完了)
用地補償
一般補償・公共補償
試験湛水

令和8年度　鳥海ダム事業費の概要

国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

事業費の執行状況

	総事業費（億円）	R８年度迄(予定)		残事業費（億円）
		事業費（億円）	執行率	
工事費	1,042	370	36%	672
測量設計費	262	184	70%	78
用地費及補償費	508	243	48%	265
工事諸費等	178	68	38%	110
合計	1,990	865	43%	1,125

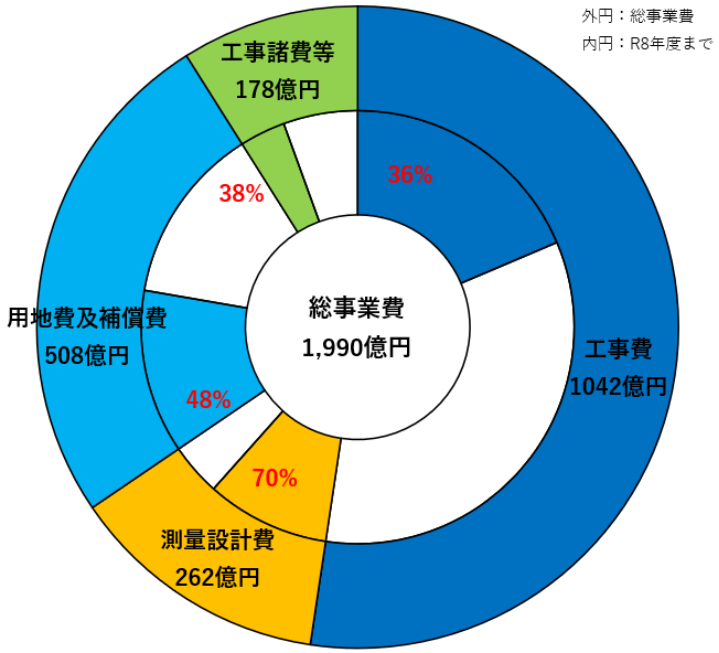
※工事諸費等 ： 船舶及機械器具費、事業車両費、営繕費、宿舎費
端数の関係で合わない場合がある

令和8年度の予算状況

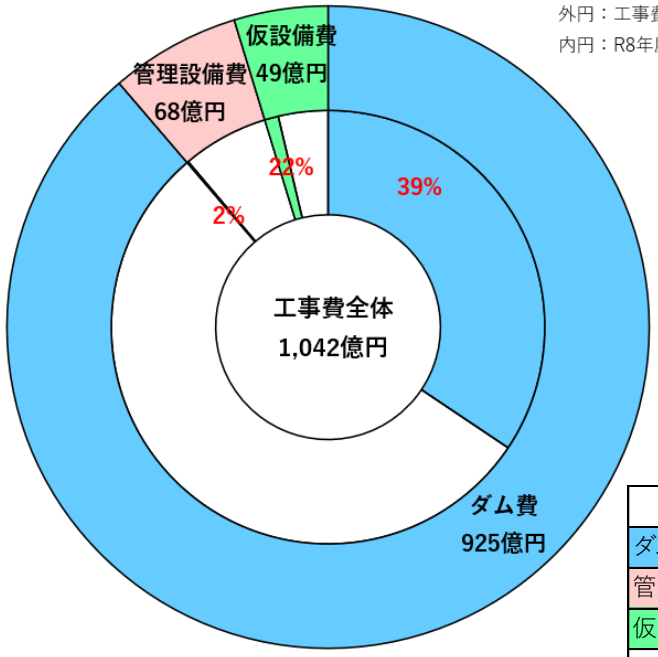
	R７年度			R８年度
	当初（億円）	補正（億円）	合計（億円）	当初（億円）
工事費	81.0	1.9	82.9	107.5
測量設計費	11.0	4.1	15.0	7.0
用地費及補償費	28.2	10.2	38.4	8.6
工事諸費等	4.5	0.3	4.8	5.5
合計	124.6	16.5	141.1	128.6

※端数の関係で合わない場合がある

事業費



工事費



R8年度迄(予定)

	費目別執行額
ダム費	358億円
管理設備費	1億円
仮設備費	11億円
合計	370億円

令和8年度事業内容

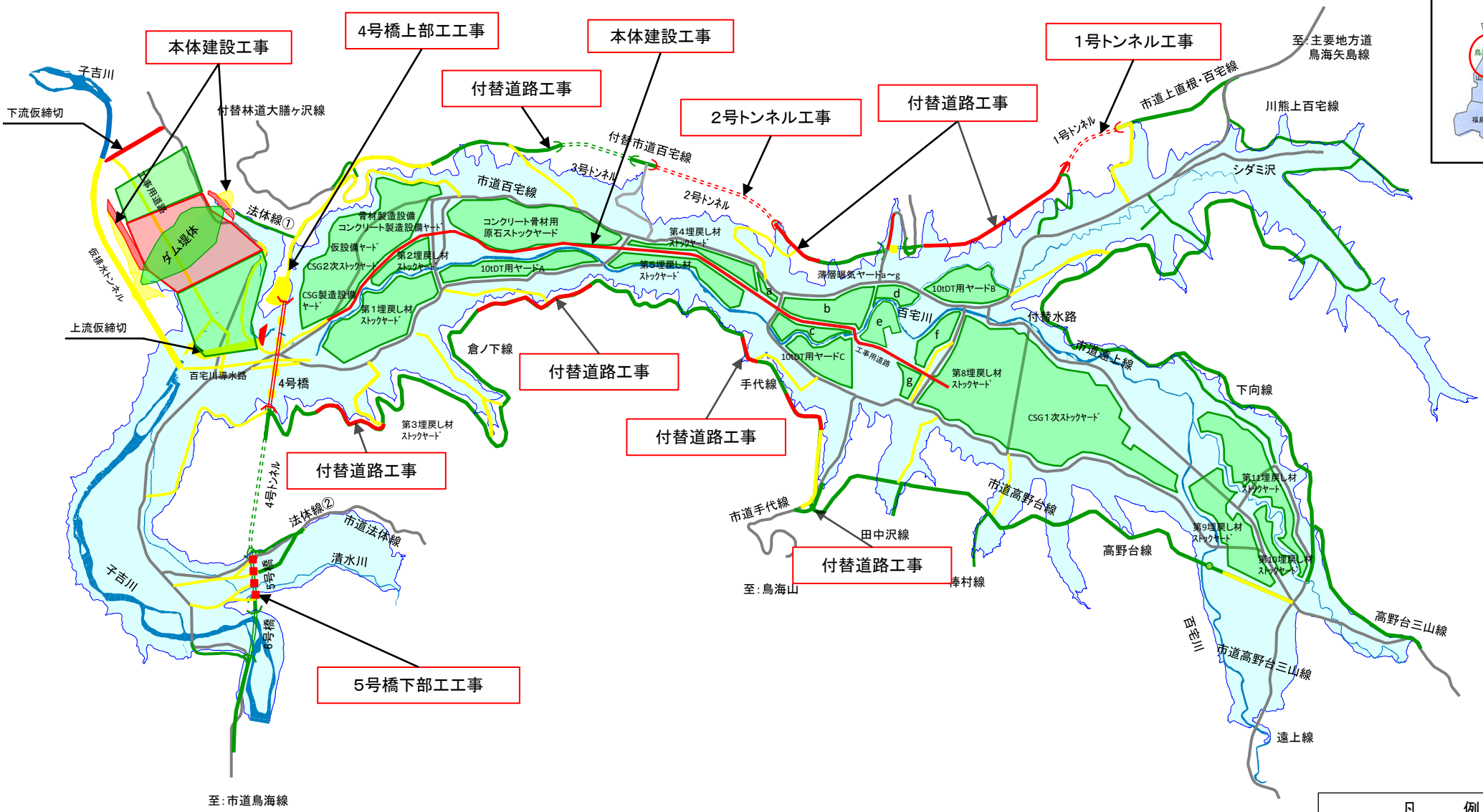
国土交通省東北地方整備局
鳥海ダム工事事務所

令和8年度予算：128.6億円（前年度比1.03倍）

※令和7年度予算：124.6億円

鳥海ダム計画位置図





※上記のほか、水理水文調査、環境調査の各種調査検討等を継続。

凡例	
橋梁	
トンネル	
現道	
河川	
ダム貯水池	

凡例	
	R７年度まで
	R８年度
	R９年度以降

その他の活動状況について

第17回　鳥海ダム環境影響評価技術検討委員会

国土交通省東北地方整備局
鳥海ダム工事事務所

○鳥海ダムでは、環境に配慮したダム事業を進めることを目的に、専門家の指導及び助言をいただきながら、鳥海ダム環境影響評価技術検討委員会を開催している。

○ダム建設事業の実施にあたり、平成30年7月に環境影響評価書の公告・縦覧を行っており、令和元年度以降は事業における環境モニタリング調査計画の内容、及び工事中～供用後のモニタリング調査結果の分析・評価、並びに環境保全措置等の実施状況等について委員会に報告し、専門家から指導及び助言をいただいた。



（R8.2.13　開催状況）



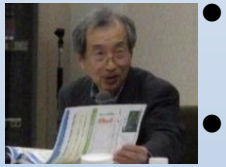
小笠原委員長

- 特に意見等なし



齋藤委員

- 特に意見等なし



沖田委員

- 法面の吹付では逆輸入種子のヨモギを使用しているか、教えて頂きたい。逆輸入種子は外来の近縁種が混入する可能性もあるため、留意して調査して頂きたい。
- シダミ沢の表土を移植して湿原を整備する取り組みは、非常に興味深いものであると感じている。整備した湿原に今後、どのような植物が生育するのか把握して頂きたい。



杉山委員

- 今回初めてキタノアカヒレタビラの生息実態を把握するために環境DNAの調査を行ったが、DNAが検出されなかったといって今回だけで調査をやめてしまって良いものか。
- 環境DNA調査は、確認手法の一つでしかない。キタノアカヒレタビラの環境DNAが検出されなかったことだけを理由に、本種が生息していないと結論づけるのは早計である。
- 直近2年でサクラマスの遡上数が減り、個体が確認できなくなっているという情報がある。地域住民が遊漁対象として注目する種であるため、この傾向は懸念している。見方によっては、サクラマスがダムの事業期間中に下流河川で確認できなくなっていると捉えることもできるため、事業による影響を把握するために調査を実施する必要がある。



加藤委員

- クマタカの幼鳥がツキノワグマに襲われたのはほぼ間違いないと考えている。クマが餌として学習すると次年度以降の営巣木も狙われる可能性があるため留意して頂きたい。
- クマタカの調査時に、営巣木の周辺でツキノワグマに遭遇する可能性もあるため、安全管理に十分注意して頂きたい。



金委員

- 河川水における大腸菌数の増加について、人由来ではないことを確認するためには、大腸菌数の分析と併せて環境DNAの分析を実施する方法が考えられる。雨と共に野生動物の糞便由来の大腸菌が河川へ流出したことが原因として想定されるが、環境DNAで調査しないと断言はできない。
- L-Q式算出に向け袖川のデータを蓄積しているが、将来的には流量別に近似式を分けなければいけない。今のペースでデータを取ると特定の流量のデータが少ないためL-Q式の算出が難しくなると考える。調査頻度を再検討し、流量別のL-Q式の算出に向けたデータの蓄積を進めて頂きたい。



田中委員

- タカチホヘビは、遭遇確率が非常に低い種である。今回の調査において確認できたのは、良い結果だと考えている。
- 爬虫類は、もともと遭遇率が低い分類群であるため、確認種数が0にならなければ、年による確認種数の変化は心配するものではないと考えている。
- 今後は、昆虫類のライトトラップ法で蛍光灯のブラックライトが使えなくなる。LEDに変えた場合に昆虫類の捕集率が変わるか検証して頂きたい。

鳥海ﾀﾞﾑ景観WGｷｯｸｵﾌ会議・第1回 鳥海ﾀﾞﾑ景観WGを実施

国土交通省東北地方整備局
鳥海ダム工事事務所

○鳥海ダムにおける景観検討では、「鳥海ダム景観ワーキンググループ」（以下、鳥海ダム景観WGとする）を設立し、事業者、地方公共団体、住民、学識経験者などの景観保全・形成に携わる関係者が協力し、「景観形成にあたり配慮すべき事項」のとりまとめ、「景観整備方針」の作成を行い、景観の予測・評価、事業完成後の事後評価を行うこととしている。
○鳥海ダム景観WGキックオフ会議では、WGの設立趣旨、今後の景観検討の実施内容・スケジュール、規約(案)等を確認した。
○第1回鳥海ダム景観WGでは、景観形成にあたり配慮すべき事項(素案)の検討、景観整備方針(素案)の検討について説明を行った。

■鳥海ダム景観WG構成メンバー

秋田公立美術大学准教授　井上宗則、秋田大学名誉教授 小笠原暠（欠席）、秋田県鳥獣研究会長　加藤竜悦、鳥海山・飛島ジオパーク事務局長　山本正樹、NPO法人矢島フォーラム代表　太田良行、地方公共団体：由利本荘市建設管理課、事務局：鳥海ダム工事事務所

【鳥海ダム景観WGキックオフ会議における主な協議内容】

○由利本荘市の鳥海ダム周辺整備検討会では、ダムを観光コンテンツとして捉え、ソフト面を中心として検討している。鳥海ダム景観WGでは、市の検討会と連携しながら景観検討を進める。
○鳥海ダム景観WGの景観検討においては、見えるところだけではなくソフト面も含めて検討する。

【第1回鳥海ダム景観WGにおける主な意見・協議内容】

○現地ガイドをするうえで、ダムを作ることで新しい価値が生まれるという方向でガイドをしたい。市としてのダムの位置づけ等がみえにくいため、観光資源としてのアピールを行ってほしい。
（NPO法人矢島フォーラム　太田代表）
○「景観」は、人々の活動や文化が結びついたものが表象しているものであるため、見えているものだけではなく、それを支えている活動や文化も含めたデザインを検討していく必要がある。
（秋田公立美術大学　井上准教授）
○景観形成にあたり配慮すべき事項が見えにくいため、鳥海ダム周辺の前提条件に基づき、配慮すべき事項を再整理し、それを踏まえて景観デザインに落とし込んでいく必要がある。
［水資源の豊富さ、雪解け水、ダム森林の保水力、火山地形、動物の生態系、観光面の記載 等］
○景観整備方針（案）について、従来ガイドしてきた場所がなくなるなか、法体の滝や下流側に残る森林鉄道跡などを観光資源として、新しい付加価値を生み出せる整備を検討してほしい。
（NPO法人矢島フォーラム　太田代表）
○ダム下流側の整備は由利本荘市との連携が必須。下流側でもフットパスが可能か、今後検討する。
○鳥海ダム周辺の植生については、地元植生を活かした植生のほか、住民から意見のあったサクラの移植について、可能かを含めて検討を進めていく。



景観WGキックオフ会議（R8.3.12開催）



第1回景観WG（R8.3.12開催）

令和8年度　鳥海ダムの広報活動

国土交通省東北地方整備局
鳥海ダム工事事務所

〇令和8年度は、引き続き本格的なダムの本体工事。現場の日々変化⇒今しか見れない魅力を発信。
〇団体用見学・出前講座、工事現場内を見学するダム工事現場内見学会、由利本荘市インフラツーリズム推進事業の一環として、「鳥海ダム工事見学周遊ツアー」を開催。「鳥海ダムだより」、SNS等を利用した地域への情報発信。
〇令和3年3月「鳥海ダム水源地域整備計画」が決定され、新たに創出される「ダム湖」と、「鳥海山」、「法体の滝」等の連携により、魅力ある観光スポットとして、地域の観光産業に寄与することを期待。
〇ダム建設段階から取り組むことで、上下流でダムの効果を認識共有し、継続した地域の取組形成に繋げたい。

展望所屋上を常時開放





ゆりほん娘の秘密基地

地域の情報を勉強中





ダム工事現場見学会（7月、10月実施予定）





展望所を活用した現地見学





鳥海ダム工事見学周遊ツアー



鳥海ダムだより



SNSによる情報発信

X（旧Twitter）による情報発信



令和7年度から工事担当若手職員によるX投稿『今週の〇〇さん』を始めました。建設機械の動画などもあるため、是非、Xにアクセスして下さい。

各SNSのQRコード

鳥海ダム
WEBサイト

X
（旧Twitter）

YouTube

令和8年度　鳥海ダムの広報活動

国土交通省東北地方整備局
鳥海ダム工事事務所

由利高原鉄道株式会社では、昨年に引き続き今年も鳥海ダム工事現場や法体の滝を巡る『**周遊ツアー**』を企画・実施しています。

鳥海ダム工事見学周遊ツアーチラシ



※ツアーの詳細は『由利高原鉄道（株）』のホームページをご確認ください。



由利高原鉄道（株）のホームページ







ツアー参加者には、ダムカード・重機カードをプレゼントしています。

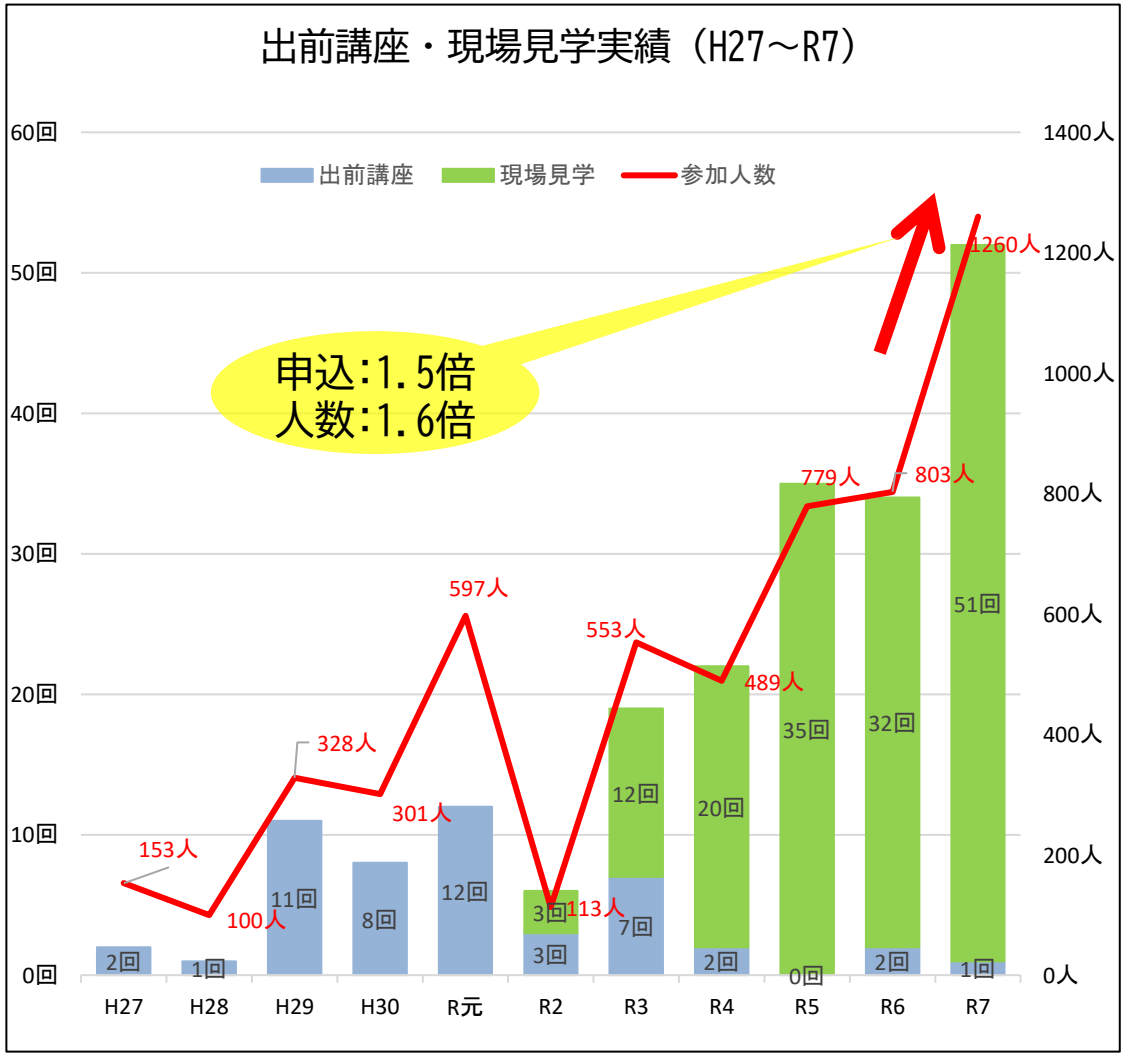
令和8年度　鳥海ダムの広報活動

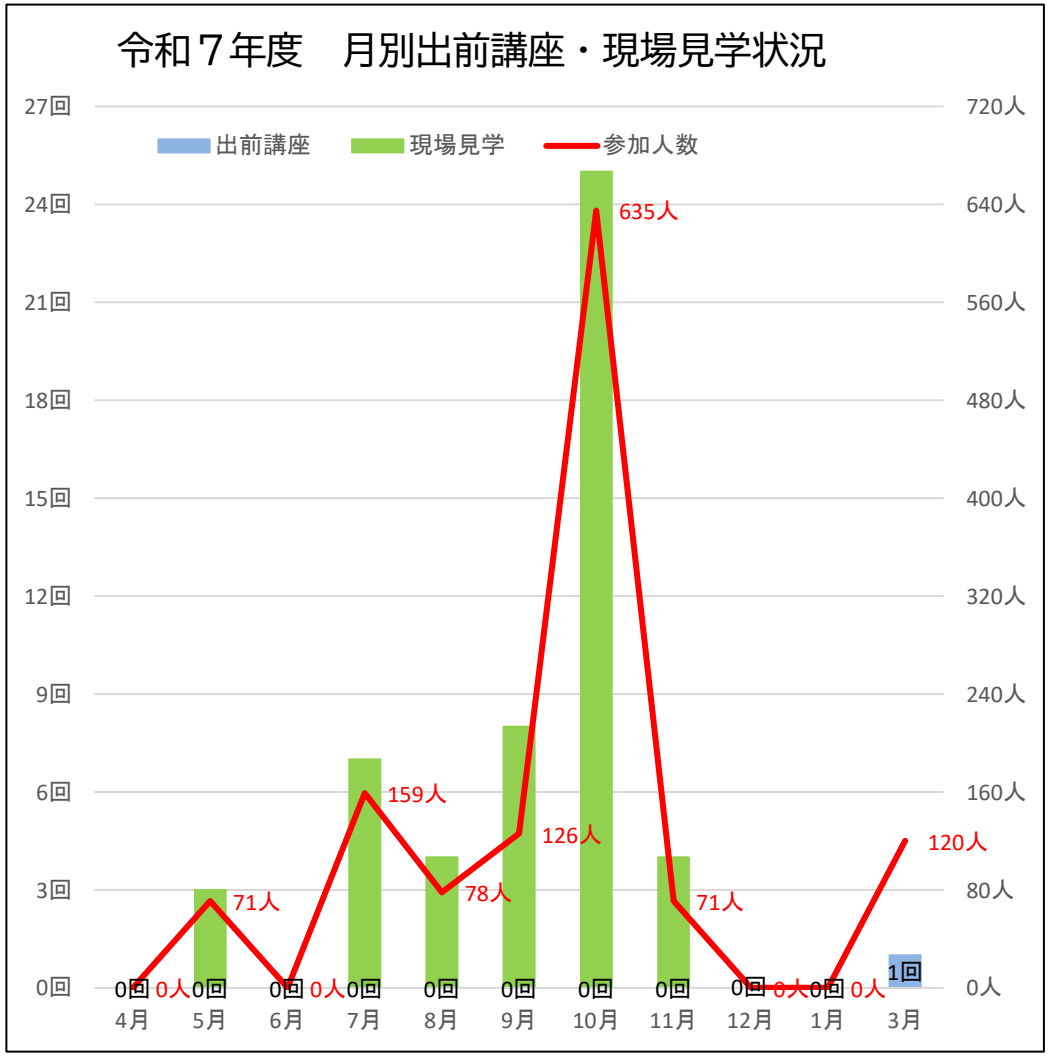
国土交通省東北地方整備局
鳥 海 ダ ム 工 事 事 務 所

●令和７年度は、現場見学及び出前講座合わせて、計52回、約1,300名の参加があった。

○このうち、7月25日(金)及び10月4日(土)事務所主催の応募型一般向け現場見学会では、県外より岐阜県、新潟県、宮城県、岩手県、山形県等からの方も含め、合計205名が参加。

○さらに、由利本荘市インフラツーリズム推進事業の一環として、令和５年度より実施している由利本荘市の契約先である由利高原鉄道(株)との「鳥海ダム工事見学周遊ツアー」では、計８回、約１５０名の参加があった。





※平成27年度より建設段階へ移行

鳥海ダム建設事業と由利本荘市が連携した観光資源としての活用

◆ 湊由利本荘市長は、鳥海ダム工事現場の視察時には、自身のブログにて視察状況を紹介しており、令和4年度からは、由利本荘市のYoutubeチャンネル「ゆりほんテレビ」においても工事現場内から進捗状況の説明が行われるなど、ダムツーリズムを通した観光資源の活用にも取り組んでいる。

出典：由利本荘市長　湊貴信ブログ



二日間にわたる「水源地域未来会議」に出席。
ダムを活用した観光振興や地域活性化へ向け、国の施策や先進地事例を学びます。
鳥海ダムは6年後の完成予定。それまではインフラツーリズム、完成後はイベントを通して賑わい創出です！

▲「令和8年6月11日　水源地域未来会議」より



東北地方治水大会が山形市にて開催です。
私は子吉川治水期成同盟会長として出席しました。
7月の豪雨では国土交通省よりテックフォースの派遣をはじめ多大な支援をいただきその感謝と、長期戦も避けられないこれからの復興復旧へのお力添えをお願いしました。

▲「令和6年10月15日　東北治水大会」より

Youtubeチャンネル「ゆりほんテレビ」



▲「はっしん！由利本荘！！
鳥海ダム工事の今『令和5年8月』」
（R5.8.17放送）より



▲「はっしん！由利本荘！！鳥海ダム工事の今『令和6年10月』～」
（R6.10.17放送）より





▲「はっしん！由利本荘！！鳥海ダム工事の今『令和7年11月』」（R7.12.17放送）より